

1. 科目名 (単位数)	心理学研究法 (4 単位)	3. 科目番号	SPMP3322
2. 授業担当教員	岡本 香		PSMP3122
4. 授業形態	講義・実習・演習(ディスカッションを含む)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	心理学入門、心理学概論、統計学、心理統計法、心理学基礎実験の全てを履修済みであること。		
7. 講義概要	<p>心理学は、具体的に見ることのできない人の心を対象としていることから、一般の人にも興味を持たれやすい学問であり、身近なもののように思われる。しかし学問としての心理学は実証科学としての性格を持っており、具体的に見ることのできる対象を扱う自然科学の方法論と共通するところが多い。そのため、心理学を研究する際、具体的に見ることのできない心を見えるようになるための工夫が求められることから、人の心という対象を実証科学的に扱う方法は、本質的な難点を伴っている。</p> <p>そこで、本科目では、心理学を科学として研究するための代表的な方法である実験法、調査法、観察法、検査法、面接法等について、それぞれの長所短所の両面、並びに研究における倫理を学び、実践するための質及び量のデータを用いた実証的な思考方法を身につけることを目指す。</p>		
8. 学習目標	<p>1.科学としての心理学であることの認識を持ち、実証科学的研究方法(量的研究および質的研究)の手順を理解する。</p> <p>2.心理学の代表的な研究方法について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。</p> <p>3.心理的な問題をいかに研究に乗せていくかについて、自ら考え、実践できるようになる。</p> <p>4.心理学研究における倫理とそれを遵守することの重要性を理解する。</p>		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	アサシメントは、授業時間内でできなかった作業とします。またレポート課題は、各研究法の報告レポートとします。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 高野陽太郎・岡隆(編)『心理学研究法-心を見つめる科学のまなざし-』有斐閣アルマ。</p> <p>【参考書】 授業内で随時紹介する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1.科学としての心理学であることの認識を持ち、実証科学的方法の手順を理解していること</p> <p>2.心理学の代表的な研究方法について理解し、自らの言葉で説明できること</p> <p>3.心理的な問題をいかに研究に乗せていくかについて、倫理的な問題を含めて、自ら考え、実践できること</p> <p>○評定方法</p> <p>学則で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業への積極的参加)30%、グループ発表 30%、試験(小テスト、課題レポート)40%として算出した合計得点により成績評価を行う。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本科目は、認定心理士資格取得のために履修が必要となる科目です。したがって、心理学を専門的に勉強したいという学生が受講しているという前提のもとに、心理学の専門的な内容に踏み込んで講義を行います。授業中に私語や居眠りをしていると、授業の内容の理解が困難になりますので、「やる気」を持って臨みましょう。また授業内において、課題に取り組むために必要な作業を説明しますので、必要に応じて、各自で「自分が何をなすべきか」を考えて行動してください。</p> <p>なお、Zoom によるオンライン授業において、教員からの呼びかけに事情の説明なく反応しない学生や、ブレイクアウトルームを用いたグループ作業に事情の説明なく参加しない学生については、欠席扱いとすることがあります。気を付けること。</p>		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション・実証とは1：科学と実証	事前学習	心理学基礎実験の配布資料を再読して、復習すること。
		事後学習	配付資料を読み直して、復習すること。
第2回	実証とは2：実証の手続き	事前学習	配付資料を読み、意味の分からない用語について調べること。
		事後学習	配付資料を読み直して、復習すること。
第3回	実験法1：実験法とは、実験課題の説明	事前学習	「独立変数」、「従属変数」、「剰余変数」、「条件統制」の言葉の意味を確認すること。
		事後学習	実験法の考え方について復習すること。
第4回	実験法2：実験の計画	事前学習	実験計画を立てるための準備をすること。
		事後学習	実験計画に不備がないかを確認すること。
第5回	実験法3：実験の実施	事前学習	実験実施のための準備をすること。
		事後学習	実験データを整理すること
第6回	実験法4：データの整理と分析	事前学習	分析方法の確認をすること。
		事後学習	分析結果の解釈をすること。
第7回	実験法5：結果の報告(発表)	事前学習	結果報告の準備をすること。
		事後学習	学んだことをまとめること。
第8回	実験法6：結果の報告(発表)	事前学習	結果報告の準備をすること
		事後学習	学んだことをまとめること。
第9回	調査法1：調査法とは、調査課題の説明	事前学習	「質問紙調査の長所短所」を確認すること。
		事後学習	質問紙調査の特徴について復習すること。

第10回	調査法2：調査の計画、質問紙の作成	事前学習	「リサーチクエスト」、 「仮説」の言葉の意味を調べること。
		事後学習	質問紙を完成させること。
第11回	調査法3：データの整理と分析	事前学習	調査を実施し、データ収集をすること。
		事後学習	調査データを整理し、分析できるように準備すること。
第12回	調査法4：データの整理と分析、結果報告の準備	事前学習	分析方法の確認をすること。
		事後学習	分析結果の解釈をすること。
第13回	調査法5：結果の報告（発表）	事前学習	結果報告の準備をすること。
		事後学習	学んだことをまとめること。
第14回	調査法6：結果の報告（発表）	事前学習	結果報告の準備をすること。
		事後学習	学んだことをまとめること。
第15回	観察法1：観察法とは、観察課題の説明	事前学習	「観察法の長所短所」を確認すること。
		事後学習	観察調査の特徴について復習すること。
第16回	観察法2：観察の実施	事前学習	観察調査の手順を確認し、実施の準備をすること。
		事後学習	観察調査を実施した際の手順を文章化すること。
第17回	観察法3：データの整理	事前学習	調査データを整理すること。
		事後学習	調査データを整理し、わかったことをまとめること。
第18回	観察法4：データの整理と結果報告の準備	事前学習	調査データからわかったことを整理すること。
		事後学習	調査データからわかったことを解釈すること。
第19回	観察法5：結果の報告（発表）	事前学習	結果報告の準備をすること。
		事後学習	学んだことをまとめること。
第20回	観察法6：結果の報告（発表）	事前学習	結果報告の準備をすること。
		事後学習	学んだことをまとめること。
第21回	面接法1：面接法とは、面接課題の説明	事前学習	「面接法の長所短所」を確認すること。
		事後学習	面接調査の特徴について復習すること。
第22回	面接法2：面接調査の計画	事前学習	面接調査の計画に必要な準備をすること。
		事後学習	面接調査の計画に不備がないか確認すること。
第23回	面接法3：データの整理	事前学習	面接調査を実施してくること。
		事後学習	調査データを整理し、わかったことをまとめること。
第24回	面接法4：データの整理と結果報告の準備	事前学習	調査データからわかったことを整理すること。
		事後学習	調査データからわかったことを解釈すること。
第25回	面接法5：結果の報告（発表）	事前学習	結果報告の準備をすること。
		事後学習	学んだことをまとめること。
第26回	面接法6：結果の報告（発表）	事前学習	結果報告の準備をすること。
		事後学習	学んだことをまとめること。
第27回	研究法のまとめ1：心理学レポートの書き方と研究倫理	事前学習	心理学基礎実験の配布資料を再読して、復習すること。
		事後学習	配付資料を読み直して、復習すること。
第28回	研究法のまとめ2：レポート作成	事前学習	レポート作成の際に引用できそうな論文を探して手元に準備すること。
		事後学習	レポートを完成させること。
第29回	研究法のまとめ3：レポート発表	事前学習	レポートの発表準備をすること。
		事後学習	学んだことをまとめること。
第30回	研究法のまとめ4：レポート発表、総括	事前学習	レポートの発表準備をすること。
		事後学習	学んだことをまとめること。